

令和7年度 江戸川区立一之江第二学校 人権教育 年間指導計画（第1学年）

年間指導計画作成のための留意点（東京都教育委員会発行『「人権教育プログラム（学校教育編）」p14 人権教育の年間指導計画（例）」を必ず参照し作成すること）

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科・読書科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、**個別的な視点からの取組を中心に**関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、互いに協力し合って学習に取り組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置付ける。

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
学級経営	人権教育の目標に関わる学級の目標を設定する。		自分の大切さを認めることを中心とした指導		他の人の大切さを認めることを中心とした指導				互いの大切さを認めることを中心とした指導			
各教科・読書科	国語「なんていおうかな」 楽しい学校生活をするための基本となる、あいさつや自		国語「こんなものみつけたよ」 学校生活の中で、見たことやしたことを話したり聞いたりする。		国語「みんなに知らせよう」 夏休みにしたことを絵に描き、絵をもとに友達と話し合う。		国語「くじらぐも」 場面ごとに、場面の様子やスマーの気持ちを想像しながら読む。		国語「どうぶつの赤ちゃん」 ◎文章を読んで、感じたことや考えたことを伝えることができる。			
特別の教科 道徳	愛校心 学校生活の楽しさを感じるとともに、ルールを守ったり進んで生活したりすることでより楽しい生活にしようとする態度を育てる。	礼儀 気持ちのよいあいさつ、言葉遣い、動作などを心がけて、明るく接する。	節度、節制 わがままや自分勝手な行動をしないので思慮深く考え、節度ある生活を送ろうとする態度を育てる。	家族愛 父母を愛し、家族のことを大切にすることを育てる。	友情・信頼 友達を助けたり、友達から助けられたりすることを通して友達の大切さに気づき、それぞれの立場で考えようとする気持ちを育てる。	自然愛・動物愛護 動植物の身になって優しくすることを知り、身近な自然を大切にしようとする実践的意欲を養う。	自由と責任 物事の善悪についての確に判断し、自ら正しいと信じることを、進んで行おうとする意識を高める。	親切・思いやり 友達や自分の良いところに気づき、自分の良さを実感し、積極的に伸ばそうとする意識を高める。	個性の伸長 友達や自分の良いところに気づき、自分の良さを実感し、積極的に伸ばそうとする意識を高める。	公平・公正 人と関わるときには相手の気持ちを考えたり話したり接したりしようという気持ちを育てる。	国際理解 挨拶を通じて、自分から他国の人々とコミュニケーションを取ろうとする意識を高める。	
総合的な学習の時間												
特別活動	1年生を迎える会 2～6年生に歓迎してもらったことへの感謝を伝える。											6年生を送る会 6年生に感謝の気持ちを表す。
その他	いち・にの・くれよん（保護者ボランティア）による読み聞かせ											
	保護者会 個人面談 家庭と連絡を取り、児童の実態を把握する。	保護者相談日	保護者会	保護者相談日		個人面談 家庭と連絡を取り、児童理解を深める。	道徳授業地区公開講座 道徳教育の取り組みと大切さを伝え連携をとる。		保護者会	保護者相談日		

「 」=個別的な視点からの取組（末尾の「 」内は人権課題） ↔ =関連的な指導 =多様性を理解し、尊重し合う態度を育成することを重点とした指導。